

平成27年度（第60期）事業報告

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

1. 会員の異動状況

会員の種類		本期末会員数	前期末会員数	差引増減
名誉会員		13	12	1
正会員		2478	2461	17
学生会員		148	156	△8
維持会員	S級	2	2	0
	A級	11	11	0
	B級	6	6	0
	C級	12	11	1
	D級	14	14	0
	E級	110	111	△1
	合計	155	155	0
	公共会員	11	11	0

2. 事業の状況

(1) 行事

行事名	講演件数	参加者数	期日	場所
第6回日中トライボロジー先端フォーラム	24	75	平成27.4.17-20	中国・武漢
トライボロジー会議 2015 春 姫路	236	963	平成27.5.27-30	姫路
第59期通常総会・特別フォーラム	2	345	平成27.5.28	姫路
平成26年度評議委員会	0	44	平成27.5.28	姫路
第447回トライボロジー懇談会	3	40	平成27.6.30	栃木
第46回トライボロジー入門講座	8	98	平成27.7.2-3	東京
International Tribology Conference Tokyo 2015	576	1014	平成27.9.6-20	東京
第1回トライボロジー国際技術交流会	3	70	平成27.10.22-23	中国・無錫
第8回トライボロジー入門西日本講座	8	55	平成27.11.5-6	名古屋
第8回トライボロジーテーマ別基礎講座	4	42	平成27.11.17	東京
第448回トライボロジー懇談会	5	25	平成27.12.4	東京
第6回トライボロジー秋の学校 in 愛知	2	88	平成27.12.17-18	愛知
第8回トライボロジースキルアップ講座	5	42	平成28.1.27	東京
第449回トライボロジー懇談会	1	15	平成28.2.3	東京
第61回トライボロジー先端講座	4	43	平成28.3.10	東京

(2) 会誌

会誌は「トライボロジスト」を12回発行。ページ数本文777ページ(60巻4号～61巻3号)。特集として「表面テクスチャリング—機能発現のためのテクスチャ創製(2)」、 「転がり軸受用グリースの潤滑寿命」、 「トライボロジーWho's Who 2015(1)」、 「トライボロジーWho's Who 2015(2)」、 「トイレタリーのトライボロジー」、 「転がり機械要素の運転性能と状態」、 「水素雰囲気におけるトライボロジー」、 「長寿命化・高機能化をめざす人工関節の最新技術」、 「特殊環境下のトライボロジー」、 「創立60周年記念 トライボロジーロードマップ」、 「創立60周年記念 自動車の省資源・省エネルギー」、 「固体潤滑の最新技術と展望」を刊行した。

また、「随筆 トライボ草子」、 「トライボロジー・ナウ トライボロジー海外体験記 —アラウンド・ザ・ワールド—」、 「入門講座 トライボロジー教室」、 「技術資料 トライボツール開発記—ブレイクスルーへの挑戦—」の連載を継続している。

(3) 研究会

研 究 会 名	種 別	回 数	場 所
オープンイノベーションを目指した技術動向調査	第1種	5	東京
添加剤技術	第2種	4	東京
固体潤滑	第2種	4	秋田, 埼玉, 東京, 岐阜
グリース	第2種	4	東京, 千葉
転がり軸受寿命	第2種	2	東京
エンジン潤滑	第3種	2	東京
転がり疲れ	第3種	2	愛知, 東京
シール	第3種	2	神奈川, 東京
鉄道のトライボロジー	第3種	1	東京
ファイル記憶のトライボロジー	第3種	1	東京
摩 耗	第3種	2	東京
メンテナンス・トライボロジー	第3種	3	埼玉, 東京, 神奈川
塑性加工のトライボロジー	第3種	2	東京
トライボケミストリー	第3種	1	栃木
自動車のトライボロジー	第3種	4	愛知, 福岡
アルミニウムのトライボロジー	第3種	2	愛知
高分子材料のトライボロジー	第3種	3	東京
“超”を目指す軸受技術	第3種	3	京都
スペーストライボロジー	第3種	1	東京
エコマシニングとトライボロジー	第3種	2	滋賀, 愛知
食品工場用潤滑油	第3種	0	

分子シミュレーションのトライボロジーへの応用	第3種	2	新潟, 兵庫
変速機のトライボロジー	第3種	3	東京, 神奈川
機能性コーティングの最適設計	第3種	2	東京
テクスチャリング表面のトライボロジー	第3種	2	東京, 愛知
エロージョンとその応用	第3種	1	愛知
境界潤滑	第3種	2	神奈川
工作機械のトライボロジー	第3種	3	東京
日本海トライボロジー	地区	1	石川
北海道トライボロジー	地区	2	北海道

(4) 主な取り組み

トライボロジーに関する科学技術の振興, 向上を目的とし, 以下の事業を行った.

- ・ トライボロジー会議 2015 春姫路, および4年毎に開催する国際トライボロジー会議を9月東京で開催した (ITC Tokyo 2015).
- ・ 日系海外現地法人で働くエンジニアの技術交流機会の提供を目的に, トライボロジー国際技術交流会を中国無錫地域で初めて開催した.
- ・ 第6回日中トライボロジー先端フォーラム, 第1回マレーシア国際トライボロジー会議 (MITC2015) の後援等, 国際事業に注力した.
- ・ 教育講習関係では各種講座 (入門, テーマ別, 先端, スキルアップ等), 懇談会および第6回秋の学校を開催した. また, 実習実演によってトライボ現象を理解する場を提供する「実習実演講座」の新設準備を進めた.
- ・ 会誌 (トライボロジスト), 英文電子ジャーナル (Tribology Online) を発行した.
- ・ 第1種研究会「オープンイノベーションを目指した技術動向調査研究会」を新設し, 産学連携によるトライボロジー技術の普及・寄与の方向性を検討した. またトライボダイナミクス研究会 (第3種) の新設準備を進めた. 今期は30の研究会が活動を行った.
- ・ 学会のコンプライアンス, 効率的な運営や社会貢献の取り組みの一環として, 委員会等の再編やトライボロジー会議 2015 春姫路で「第2回倫理シンポジウム」を開催した.
- ・ 学会創立60周年記念事業として, 電子版トライボロジスト誌を科学技術振興機構 (略称 JST) が提供する J-STAGE への公開, 学会ホームページのデザイン変更. 学会の60年のアクトビティをまとめた和文および英文の記念冊子の発行, 会誌創刊号から60年分の論文・解説などの記事および入門講座の動画などを収録した DVD 発行準備を進めた.